

平成24年度再評価対象事業
(対象：平成19年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業観)
	再評価時点 H18	呼子港 さきかた (先方地区) 呼子港地方港湾改修事業 事業主体：県 事業地：唐津市 呼子町	呼子港には、4離島への定期船や周辺海域を周遊する遊覧船が就航しているが、発着場所は、湾奥部で水域が狭く、かつ船の往来が激しく操船上の危険性が指摘されている。 また、乗客の待合スペースもなく、道路上で乗降しているため、交通の障害となっている。 このため、先方地区に安全に乗降できるふ頭整備を進め、定期船や遊覧船を集約する。	総事業費：約50億円 工期：H3～H28 防波堤 L=110m 浮棧橋 1基 物揚場(-3m) L=100m 物揚場(-2m) L=100m 泊地(防波堤撤去)L=30m 道路 L=580m 護岸 L=320m 緑地 A=4.6ha(市施工)	H17年度末事業費：約24億円 H17年度末進捗率：48.0% 防波堤 L=110m 浮棧橋 1基 物揚場(-3m) L=100m 物揚場(-2m) L=100m 泊地(防波堤撤去) L=30m 護岸 L=53m(堤体工)	事業を巡る情勢の大きな変化は見られない。	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 B/C=1.2	(コスト削減) 作業船の効率的使用による回航費の削減に努めてきた。 (県事業) 埋立土に他事業の建設発生土を受け入れることで、埋立費の削減。 (市事業)	再評価実施後5年が経過	継続
	現時点 H24		なお、旧呼子町は海岸線まで家屋が密集し、駐車場が少なく、観光の核となる施設がないため、市がこのふ頭に隣接して、観光拠点となる緑地、物販所、レストランなどを整備する。	総事業費：約63億円 (県53.6+市9.7=63.3) 工期：H3～ 防波堤 L=110m 2号防波堤 L=110m 浮棧橋 1基 物揚場(-3m) L=100m 物揚場(-2m) L=100m 泊地(防波堤撤去)L=30m 道路 L=580m 護岸 L=320m 埋立 A=4.6ha(市施工)	H23年度末事業費：約35億円 H23年度末進捗率：55.0% 防波堤 L=110m 2号防波堤 L=110m 浮棧橋 1基 物揚場(-3m) L=100m 物揚場(-2m) L=100m 泊地(防波堤撤去)L=30m 道路 L=62m 護岸 L=53m(堤体工) 埋立 A=0.7ha(市施工)	直売所や温泉施設等(1期地区：約1ha)が完成し賑わいを見せているが、残る埋立地(2期地区：約4ha)については、1期地区の土地利用の変更や事業を取り巻く環境の変化もあり、2期地区の土地利用計画を見直す必要がある。	全体：B/C=0.9 (1期地区のみ：1.1)	(コスト削減) 作業船の効率的使用による回航費の削減に努めてきた。 (県事業) 埋立土に他事業の建設発生土を受け入れることで、埋立費の削減。 (市事業)	再評価実施後5年が経過	中止 (理由) 整備済箇所の土地利用が変更されているが、残る埋立地の土地利用計画の見直しができないため。
	理由等			整備した船溜まりの静穏度が十分では無かったため、防波堤を追加整備したことによる事業費の増。	平成23年度からゼロ予算となっている。		防波堤等の追加整備に伴うコストの増。 また、土地利用計画が見直されていないため、便益の算定ができない。			